

議録:令和6年度 第1回明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会(要旨)

日時:令和6年6月5日(水) 10:00~11:55

場所:恵那市役所西庁舎災害対策室

1. 開会

事務局

2. 役員選任

- 事務局:本協議会規約第6条の規定に基づき、会長及び副会長を選任する必要がある。これまでの例にならい、会長を恵那市の部長、副会長を中津川市の部長と、事務局から提案。
- 委員:異議なし
- 会長・副会長:あいさつ。
- 事務局:新メンバーで1回目の会議であり、他委員からも自己紹介を依頼する。

3. 協議事項

- 会長:協議事項1について事務局に説明を求める。
- 事務局:令和5年度事業報告並びに収支決算報告について(資料1, 2)、説明。
- 会長:監事に監査報告求める。
- 監事:令和6年5月16日監査を実施し、適正に執行されていることを報告。
- 加藤委員:バスの利用者が伸びる見込みの要因は
- 事務局:恵那駅周辺のまちなか巡回バスの新設と増設は、移動データ可視化を活用した路線であること。明智地区の明智まちなか線とデマンド交通は、小中学生の通学を自主運行バスからスクールバスへ移行し、高齢者が利用できる路線に再編したことによる。この再編は地域の方と一緒に見直した。
- 加藤委員:数値で示してほしい。
- 事務局:P8で説明。明智地域の下期の分622人が増加分。
- 加藤委員:現在の目標値は高い設定であるが、現状目標に対して3割の達成率。どう見たらよいか。
- 事務局:デマンド交通が1年経過した。バス停の見直しも行い、地域の意見を聞くことが大切。それをクリアすれば目標は達成できる。
- 加藤委員:目標値を地域に共有するべき。地域と一緒に目標に挑むことが大切。
- 会長:ご意見はあるか。意見なく、承認を求める。
- 委員:意義なく承認
- 会長:協議事項2について事務局に説明を求める。
- 事務局:明知鉄道沿線地域公共交通計画の改訂について(資料3)、説明。

- 渡辺委員:P72 以降。アウトカム指標について、明知鉄道の R8 年度の目標値は現状以上となっている。明確な数値でないので、現状や利用分析したからの数値に変更するべき。
- 事務局:明知鉄道の目標値38万4千人は、平成 30 年度に設定。利用者はコロナ禍で激減し、今は戻りつつあるもコロナ前までに至ってない。評価比較の対象が困難となったことから改めさせていただいた。見直しは前回の会議で同意を得ている。現実的な目標数値としたい。
- 加藤委員:バスは再編したが、明知鉄道は再編していない。現実的でない理由からの見直しは理解できるが、明知鉄道での収益や利用状況を踏まえて利用者の見込みと今の数値が整合するか確認したい。
- 渡辺委員:目標値以上にする自信はある。この数値は R4 年度数値で、R5 年度は 30 万人を超える実績である。社員のやる気を含めて修正してほしい。また、R6 年度より恵那市では通学定期に対する補助が始まったので、列車通学が戻ってくことに期待したい。
- 事務局:通学定期は、コロナ前との比較で 70%までしか戻っていないが、明知鉄道からの意見を踏まえて、改めて数値設定するので承認願いたい。
- 小野木委員: P56 の運転手確保の取り組みについて、鉄道が含まれてないが、問題ないと解釈してよい。
- 渡辺委員:今は何とか頑張っており、減便までいってない。
- 加藤委員:中期的にみれば、鉄道も含めても良いと思う。また、事業 1-3-1 職業企業紹介との連携という言葉はどうか。実施内容の移住定住の取組みの連携のほうが良い。事業 1-3-2 資格取得の奨励策の調査・検討は大事なことだ。運転手を養成する機関がない中で、1種免許運転手を活用し、2種免許取得まで支援することは、人材育成を図る上で重要なことだ。即効性がなくても移住定住とセットにできると良い。
- 渡辺委員:運転手は高齢化している。対象に鉄道を加えてほしい。
- 会長:P56 の訂正をどうするか。
- 事務局:1つ目はバス・タクシーを、鉄道を含めた交通事業者に改める。2つ目は職業紹介企業との連携タイトルを改める。
- 城戸協委員:一つ目、地域の足の不足を確保する手段として、日本版ライドシェアや交通空白地有償運送を活用しながら言及することも必要。二つ目、P65 の新たな技術を活用した付加価値の向上とは何のことか
- 事務局:一つ目、調整する。二つ目、新たな技術の導入は、交通の維持や運転手不足への対応につながることで、データ活用することで、今までできなかったことが可能となるとしている。
- 城戸協委員:付加価値の向上とは、交通に何がプラスとなるのか、EV 車両や自動運転は手段としてのものであり、付加価値とは違う気がするが。
- 加藤委員:付加価値の向上と難しい言葉だが、便利になる、使いたくなることを具体的に示せばよい。また、環境負荷削減に貢献することも重要で、社会的付加価値といえる。
- 加藤委員:ライドシェアという話があったが、運転手確保に向けた取り組みの中で、1種免許取得者も雇用できる環境整備の検討は、ライドシェア導入を視野に入れて重要である。ライ

ドシェアの雇用パターンや個人事業主パターンにこだわらず、1種免許取得者を活用しながら地域の交通を支えていく体制を整えることが大事。

- 加藤委員：飯地・串原地域の交通空白地有償運送の運転手確保も大事だが、このことは触れなく良いのか。
- 事務局：この法定計画の下位計画に基づき、有償運送の継続に向けた運転手の養成講習や継続研修の支援を行っている。
- 加藤委員：運転手確保は大事なことなので、この計画にも明記しておくのも良いと思う。
- 事務局：委員からの意見について、この場で明確の回答できないものもあるので、修正分は事務局に任せていただき、計画を改めたい。
- 会長：他に意見はあるか。意見なく、承認を求める。
- 委員：意義なく承認

- 会長：協議事項3について事務局に説明を求める。
- 事務局：令和6年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について(資料4)、説明。
- 会長：ご意見はあるか。意見なく、承認を求める。
- 委員：意義なく承認
-
- 会長：協議事項4について事務局に説明を求める。
- 事務局：明知鉄道沿線地域公共交通計画(別紙)について(地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統))(資料5)、説明。
- 中部運輸局岐阜運輸支局：今回の協議をもって運行を行うものか。
- 事務局：7月の公共交通会議で報告を予定している。
- 加藤教授：法的には協議事項ではないが、公共交通会議で協議をした方が良い。
- 事務局：承知した。公共交通会議で協議を行う。
- 会長：他に意見はあるか。意見なく、承認を求める。
- 委員：意義なく承認

- 会長：協議事項5について事務局に説明を求める。
- 事務局：明知鉄道生活交通改善事業計画について(資料6)、説明。
本会議に出席の明知鉄道の渡辺専務に補足意見を求める。
- 明知鉄道：補足説明。
- 会長：中部運輸局鉄道部計画課の小野木課長に意見を求める。
- 中部運輸局：令和5年度補正で交付決定している。適正に執行されることを願う。
- 会長：他に意見はあるか。意見なく、承認を求める。
- 委員：意義なく承認

4. その他

- 会長:5協議事項はすべて終了したので、進行を事務局に返す。
- 事務局:チラシ等配布物の説明
- 副会長:第1回明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会を閉会する。